

議会だより

発行：八郎潟町議会 編集：議会広報編集委員会

〒018-1692 秋田県南秋田郡八郎潟町字大道80 TEL 018-875-5810

3月定例会



小学校卒業式

6年生30名、学び舎を巣立ちました

目次	2	3月定例会
	3	条例等／臨時会／議長交際費／全員協議会
	4～11	一般質問
	12	3月定例会提出議案結果報告
	13～15	各常任委員会／予算特別委員会／その他
	16	陳情／議会の動き／編集後記

3月定例会

3月定例会は、3月5日から15日までの11日間にわたり開かれました。一般質問は7名、審議した議案は専決処分承認2件、補正予算関係6件、条例の改正7件、指定管理者の指定1件、当初予算関係6件、人事案件2件、諮問1件です。

令和6年度一般会計当初予算は可決

30億7,757万9千円 (対前年度比 1億4,133万4千円の減)

主なものは

・町長選挙費	671万1千円
・町議会議員一般選挙費	1,379万9千円
・社会福祉協議会事務局職員設置費補助金	1,917万9千円
・福祉医療費 (高校生まで医療費無料)	6,737万4千円
・老人福祉センター管理運営委託料 (水道光熱費・燃料費・改修費ほか)	432万5千円
・自立支援給付費 (障害者支援)	1億6,613万3千円
・すこやか子育て支援事業費補助金 (保育料・副食費無料)	1,221万8千円
・児童手当 (中学校就学前まで)	4,600万円
・予防接種委託料 (BCGほか各種接種)	1,229万4千円
・総合健診委託料 (早朝健診)	1,452万2千円
・農村環境改善センター外壁改修工事実施設計業務委託料	251万5千円
・まちづくり活動センター管理運営委託料	1,245万円
・町道・下水路整備工事 (中嶋線外道路修繕工事)	2,383万6千円
・除雪対策費 (町道除雪)	2,511万円
・学校給食費助成金 (小・中学校給食無料)	1,723万1千円
・プール用ろ過装置更新工事	803万円
・オリンピック会館改修工事実施設計業務委託料	569万2千円

令和6年度特別会計等5議案可決

- 令和6年度国民健康保険特別会計当初予算
..... 6億7,533万円
- 令和6年度後期高齢者医療特別会計当初予算
..... 9,612万4千円
- 令和6年度介護保険特別会計当初予算
(2勘定の計) 9億7,589万4千円
- 令和6年度水道事業会計当初予算
(収益的収入) 1億4,399万3千円
(資本的収入) 4,520万円
- 令和6年度公共下水道事業会計当初予算
(収益的収入) 2億2,760万5千円
(資本的収入) 1億1,196万7千円
⇒本年度から公営企業会計へ移行

令和5年度補正予算6議案可決

- 一般会計補正予算... 1億1,372万8千円追加
主なものは
・財政調整基金積立金ほか..... 1億1,762万2千円
・新庁舎連絡通路等整備工事.....△2,036万5千円
・ふれあいロード橋補修工事委託料...△1,454万1千円
- 令和5年度国民健康保険特別会計補正予算
..... 5,899万1千円減額
- 令和5年度後期高齢者医療特別会計補正予算
..... 73万9千円減額
- 令和5年度公共下水道事業特別会計補正予算
..... 473万9千円減額
- 令和5年度介護保険特別会計補正予算
(保険事業勘定) 766万円追加
- 令和5年度上水道特別会計補正予算
(収益的支出) 41万円追加
(資本的支出) 4万7千円追加

【専決処分の承認2件可決】

1. 令和5年度八郎潟町一般会計補正予算（第9号）の専決処分の承認を求めることについて

補正額 **2,493万5千円**追加し、補正総額 **36億4,176万1千円**
物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金

内容

- 住民税均等割のみ課税世帯への給付（基準日：12月1日）給付額：1世帯当たり10万円
- 低所得者の子育て世帯への加算（基準日：12月1日）
 - ・住民税均等割非課税の子育て世帯への加算 給付額：1人当たり5万円
 - ・住民税均等割のみ課税の子育て世帯への加算 給付額：1人当たり5万円
- 事務費（通信運搬費、振込手数料ほか）

2. 八郎潟町手数料条例の一部を改正する条例の専決処分の承認を求めることについて

改正内容

- 本籍地以外での戸籍証明書等の交付（広域交付）を可能としたこと。
- 戸籍電子証明書提供用識別符号に関する発行手数料の額は1件につき400円とし、除籍電子証明書提供用識別符号に関する発行手数料の額は1件につき700円とする。
ただし、次の場合は発行手数料は徴収しない。
 - ・当該符号の請求及び発行が、マイナーポータル（情報提供等記録開示システム）により行われる場合
 - ・当該符号の発行の請求と同時に、当該戸籍電子証明書等に記録された事項と同一の事項が記載された戸籍謄本等の請求を行う場合
- 出生、婚姻、死亡等の届出書等を電子化、証明書としての交付や閲覧を可能としたこと。

【条例関係7議案可決】 条例一部改正の主なものは

① 行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正

個人番号を利用できる事務の範囲が拡大したことにより、条例で定める個人番号利用事務の中に八郎潟町結婚新生活支援事業等を加えるほか、規程に盛り込むため一部改正したものです。

② 八郎潟町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正

フルタイム及びパートタイムの会計年度任用職員について、令和6年度から対象となる職員に勤勉手当を支給すべきものとされていることを規程に盛り込むため一部改正したものです。

第1回 臨時会 令和6年1月12日開催

議案第1号

令和5年度八郎潟町一般会計補正予算（第8号）について



賛成多数可決

反対：加藤千代美、金一義

議案第2号

工事請負変更契約の締結について（八郎潟町B & G海洋センタープール修繕工事）



全員賛成可決

■ 議長交際費の支出状況（1月～3月）

◎議長が交際費に要した経費の概要をお知らせします。

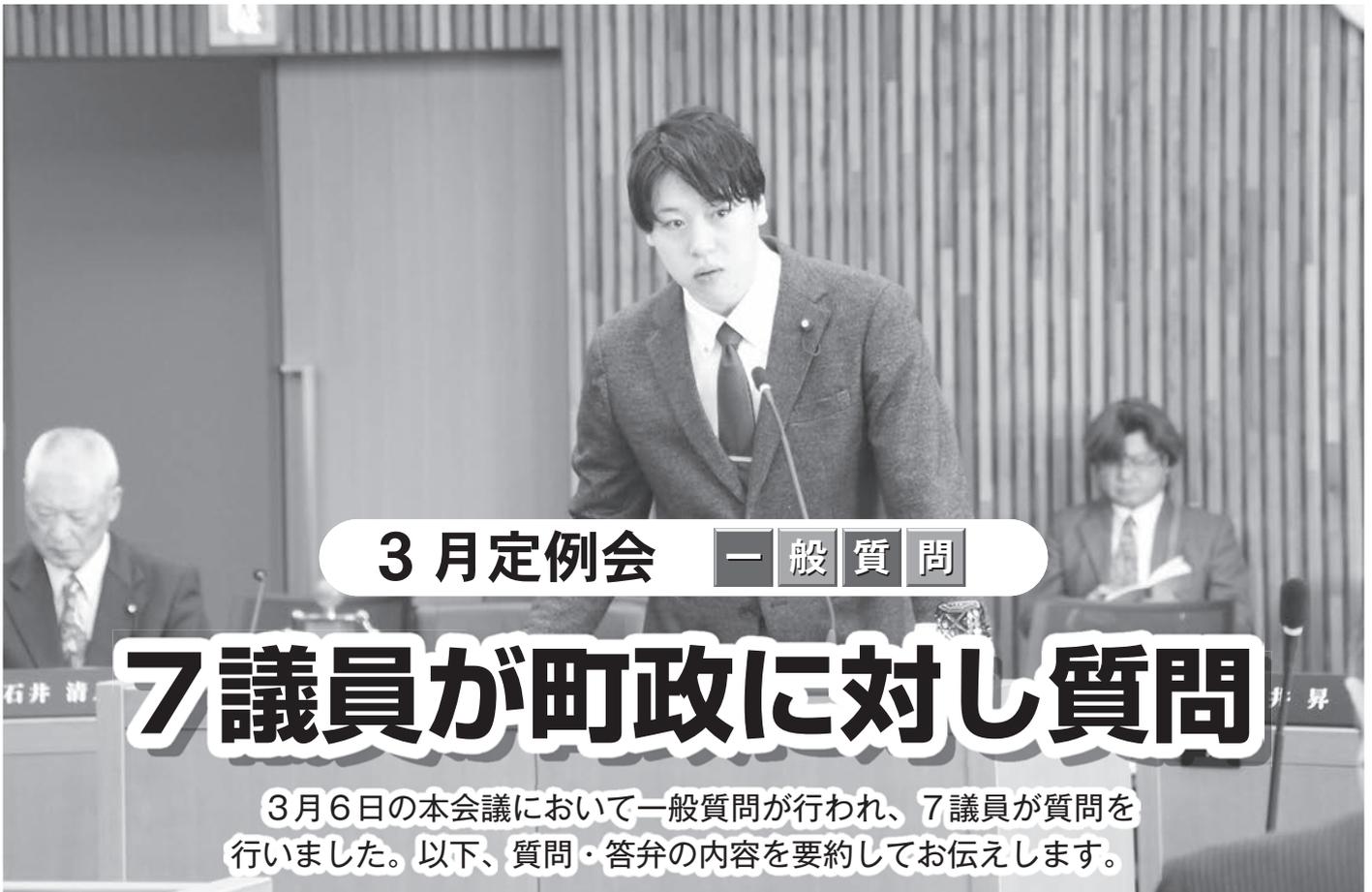
分類	件数	金額（円）	内 訳
その他	4	30,750	商工会賀詞交歓会、南秋田郡町村正副議長並びに事務局職員合同研修会負担金、体育協会スポーツ賞授与式、婦人会総会
計	4	30,750	

議会全員協議会

令和6年2月28日

[協議案件]

3月定例会に提出する議案の主な内容について



3月定例会 一般質問

7議員が町政に対し質問

3月6日の本会議において一般質問が行われ、7議員が質問を行いました。以下、質問・答弁の内容を要約してお伝えします。

◆ 質問者

京極 幸村 議員 (一問一答)

- 1、少子化対策のこれまでとこれからは
- 2、経済政策のこれまでとこれからは
- 3、中学生からのまちづくり提案について

畠山 一充 議員 (一括質問一括答弁)

- 1、高度化P I C S (歩行困難者支援) 信号機の導入
- 2、強い農業づくりにおける包括連携協定の取り組み

小柳 聡 議員 (一問一答)

- 1、部活動の地域移行の現状と今後の方向性は
- 2、行政と住民が協働で支え合う町へ
- 3、二次医療圏について

金 一義 議員 (一問一答)

- 1、八郎瀧町国土強靱化計画の推進について
- 2、八郎瀧町の良さを宣伝し子育て支援を充実して移住定住促進事業の取り組み
- 3、脱炭素型社会構築事業 (モミガラ) でのイチゴ栽培について

北嶋 賢子 議員 (一括質問一括答弁)

- 1、太平洋戦争にちなみ
- 2、母の健康の秘訣と認知症について
- 3、高齢者への補聴器の補助について

加藤千代美 議員 (一問一答)

- 1、二元制代表制とそれぞれの政策について
- 2、令和6年の農業政策について

村井 剛 議員 (一括質問一括答弁)

- 1、昨年の水害を検証し、本町における今後の防災事業計画を問う
- 2、令和7年から実施される「あきたこまちR」への全面作付け切り替えの県計画に対する見解を問う
- 3、貸衣装「葉月」への水道管の埋設を町で実施すべきと思うが？

一般質問とは

一括質問一括答弁方式の場合、質疑は特別な場合を除き3回を超えることができない。一問一答方式の場合はこの規定は適用しない。

また、延会、中止、又は休憩のため発言が中断したときは、会議の再開により前の発言を続けることができる。

一般質問

少子化対策のこれまでとこれからは



京極 幸村
議員

問 我が八郎潟町において、人口や出生数が推計値よりも下振れしており、少子化は急激に進行している。このままでは存続の危機に陥るといふ危機感を持っている。これまでの様な少子化対策への取り組みをしてきたか。

町長 給食費無償化や不妊治療費の助成をはじめ、様々な出産・子育て支援事業を実施してきた。

問 少子化対策には婚姻率の増加が重要であると言われている。令和5年度の八郎潟町における出生数は7人で、婚姻数は2組と伺っている。今後、少子化対策にはどの様な取り組みをするのか。

町長 出会いサポート事業、結婚相談所への登録料助成事業、結婚新生活支援事業を行う。

問 婚姻率向上におけるアプローチをブッシュ型で実施するために、町の

独身者データベースを作成することはできないか。

町長 出会いサポート事業などについては参加人数がなかなか集まらないといった課題があるので、まずはその様な課題解決に向けた取り組みをしないと名簿を作成しても活用できないと考える。

問 情報が届いていないから参加者が少ないのではないか。そのため独身者と繋がることが出発点と考える。

町長 登録の仕方が難しいと考える。

問 町の経済状況というのは少子化という課題にも密接に関わってくる分野でもある。これまでの本町の経済政策という課題についてどういった取り組みを行ってきたか。

町長 過去の誘致企業である日本機械工業、横浜電子工業と意見交換を行っている。また企業誘致のために定期的な会合に出席している。

経済政策のこれまでとこれからは

問 その取り組みの成果は現時点においては新たな誘致には至っていないのが現状である。

問 今後、経済政策としてどの様な取り組みをするのか。

町長 県や商工会等と連携を深め、企業誘致や起業家の支援に取り組む。

問 商店街の活性化については。

町長 これ以上錆びたらないかと思っている。若い後継者の人たちが頑張っているうちになんとかしよう、はちらばを始めて色々と考えてきた。今後もなんとかしなければと考えている。

問 令和3年の時点で過半数を超える企業がリモートワークを導入している。ワーケーションという短期間滞在で、1T人材にアプローチをかけるれないか。

町長 本町においてもワーケーション対応は可能かと思う。しかし滞在する住宅の確保が課題と捉えている。

問 滞在場所という課題について、今まで何か取り組んできたか、あるいは

は今後のことは検討しているか。

町長 今まではなかった。空き家バンクが選択肢の一つになると思っている。

問 町営住宅の公営住宅を撤廃して宿泊施設として活用できないか。

建設水道課長 現公営住宅法の中で公営住宅の廃止となれば可能だと思っている。

問 八郎潟町で起業家を育成してその事業拡大を期待することも一手である。中学生や若者を中心に社会教育としてアントレプレナーシップ教育を実施してみてもどうか。

教育長 職場体験や農業体験等、キャリア教育を実践している。アントレプレナーシップ教育と似た様な取り組みができていないかと考えている。若者と中学生が協力してのアントレプレナーシップ教育が出来るかどうかは検討したいと思っている。

問 現在のキャリア教育では労働者側の側面が強く、アントレプレナーシップ教育はそれとは真逆の起業家育成としての性質がある。その認識の違いをどう理解しているか。

中学生からのまちづくり提案について

教育長 議員が言われる様に理解している。授業の見直しを進めていきたいと思っている。

八郎潟中学校の総合的な学習の時間での、町づくりへの提案を紹介する子供たちが上げた声に我々が応えることができれば、子供たちにとってこの町が、「住み続けたい町」になるのではないかと期待している。

問 八郎湖畔にグランピング施設の開設を

町長 まちづくりについて考えていただき、大変嬉しく思っている。釣り公園の敷地の場合、県の所有地になる。また増水時のリスクもあり、難しい面もある。

問 枝豆マラソンの開催を

町長 特産品をアピールできるチャンスであり、素晴らしいアイデアだと思っている。その他の提案についても貴重な意見として賜り、参考にしている。中学生には心から感謝し上げる。

一般質問

ピックス 高度化PICS (歩行困難者支援) 信号機の導入



畠山 一充
議員



視覚障害者用信号付加装置 (昭和52年7月1日設置)

問 目が不自由な人や高齢者の方々が安全に横断歩道を渡れるようにする為、高度化PICS信号機の導入を提案いたします。

これは、スマートフォンに専用アプリ『信GO!』（しんごー、と読む）をダウンロードし、通信機器がある信号機に近づく、近距離無線通

信「Bluetoothウース」を通じて利用者のスマートフォンに情報が送られ、

交差点、名称（〇〇交差点です）や歩行者用信号の灯色（△△方向の信号が青です）を音声や振動などで確認することができ、スマートフォン向け（一部のガラケーを含む）のアプリケーションです。アプリをダウンロードすることで使用できません。アプリは、無料かつ特別な利用手続きや登録なども不要です。なお、設定によって音の変更や振動パターンなどが変えられ、24時間利用がで

ます。

このシステム「高度化PICS」は、視覚障がい者だけではなく交通弱者の方にも広く利用できるのが特徴で、安全な横断を支援し交通事故の防止を図るものです。本町の地域共生社会実現に向け、どうか高度化PICS信号機の導入について是非ご検討願います。

町長 高度化PICSは、交差点名や信号表示灯の情報をスマートフォンなどの携帯端末を介して音声と振動で伝えるシステムであり、主に視覚障がい者の移動支援に寄与するものと考えております。五城目警察署へ確認したところ、視覚障害者団体等が入る施設周辺などといった、視覚障がい者の利用頻度が見込まれる横断歩道が優先的に設置される場所となつているとのことでありました。今後、視覚障がい者からの要望等を踏まえ、設置についての要望を検討してまいります。

強い農業、つくりにおける包括連携協定の取り組み

問 本町の農業は、3年〜5年後が大きな転換期で持続可能な農業を取り組む、強い町へ変わる施策が必要だと思えます。提案といたしまして、

本町と秋田県立大学との包括連携協定の取り組みです。連携内容は、稲作+複合型経営と持続可能な農村づくりです。

町は、稲作以外に大豆・枝豆・ネギ・キャベツ・かぼちゃ・さつまいも等の生産出荷されておりますが、町単独のブランド化作物について、今のところ無い状況です。秋田県立大学より、八郎潟町の気候・土壌成分等において、一番適合している作物は何かを模索・研究、支援などを頂きたいと思えます。

将来は、地域性を生かした農業が行われ、農村づくり（担い手不足の解消など）や地域の活性化に結び付くと思えます。是非ご検討願います。

町長 本町の気候・土壌成分に適した町単独のブランド作物の模索等は、農業従事者の高齢化、後継者不足問題を抱えている本町においては、今後の農業施策を進めていく上で取り組みが必要な課題の一つと認識しておりますが、包括連携協定締結によるブランド作物の模索は、町の明確なビジョン、秋田県立大学の方針の外、将来の販路確保等についても考えていく必要があると思えます。農業分野に限らず、地域の抱える多様な課題の解決にむけた全町的な連携協定締結も考えられますので、今後、秋田県立大学と包括連携協定を締結している他の自治体の例を参考にしながら地域の抱える多様な課題の解決に向けて検討してまいります。



一般質問

部活動の地域移行の現状と今後の方向性は



小柳 聡
議員

部活動の地域移行改革推進期間が令和5年から令和7年の3年間と設定され、休日の部活動が地域に移行している段階と認識しております。

野球を例にすれば、土・日の練習試合には監督（先生）は来ないのが前提と考えれば、公式戦の際に外部コーチがベンチに入れないという状況が生まれます。部活動指導員の位置づけであれば可能だが、当町としてはそれを採用しておりません。

想定されることは練習試合等で指揮することが少ない中で公式戦の意思決定を監督がしなければいけない状況が生まれることです。

問 現状の制度を踏まえ、た当町の課題、改善に向けた動きはあるか。

教育長 野球と剣道については実際の大会時には外部コーチが入ることは

出来ません。2種目がそのような状況だが、これについては改正していただけないかと中体連に申し込んでいます。本町の場合、練習試合の時に大会で指揮を取れない方だけが引率して試合をしても違和感があり、本町では監督になって先生が練習試合等を組んで実際に行く時には先生が指導しているのが現状です。

冬期間において中学校体育館の暖房の使用を躊躇せざるをえない現場を目の当たりにしました。1月13日館内温度1〜3度、1月20日は5〜6度、3時間程度寒い中で練習試合だったそうです。

暖房の使用が可能か不可能か、条件があり申請すれば認められるといった線引きが曖昧なまま休日の地域移行が進んでいる



小中学校の暖房設備

ように感じます。小中学校体育館においては暖房設備があるからか部活単位の設備を準備していないのが実情です。

問 暖房の使用基準を明確化し、状況に応じ出来るだけ使用を認めてほしい。

教育長 練習や練習試合においては節度を持った使い方をしていただけだと思います。例えば早朝2時間ぐらいい暖房をつけるなどといった形です。ただ町民体育館で暖房使用の場合は使用した団体が灯油を満タン返すように定めており、使用場所において経費の違いが出る点については課題となってくるかもしれません。

活動場所が遠くなる、送迎負担や交通費が発生するリスク、受益者負担等も増えるようであれば地域移行がより良い方向へ向かわなくなる可能性もありえる。

問 地域として最低限の目標設定はどのように話し合われているのか。

教育長 クラブチームは別として、合同チームで

も拠点校方式でも生徒の送迎をどんな方法を取るかが大きな課題と考えております。現在は保護者にご負担をおかけしていますが各自自治体で足並みを揃えてどう対応していくか、また学校の放課時間を揃えるなどの課題も出てくるだろうと考えております。

行政と住民が協働で支え合う町へ

行政と住民が一緒の方向を向いて協力できる体制であればベストであると思います。

町内会は住みよい地域づくりの根幹となる組織であると考えます。

緊急時の連絡体制については、避難を伴う意思疎通等に関してはスピード感のある体制整備も必要と考えます。

問 緊急時の町内会長との連絡体制はどのようにしているか。

町長 大雨などにより避難所を開設する際等、緊急時に町内会長へ連絡が必要な時は該当する町内ごとに会長の方へ個別に

連絡をしております。

対象エリアを絞る連絡であっても、情報が周辺エリアにも危機意識として伝わるようにLINEグループの活用をしてはどうか。災害が起きれば一刻も早く行政発信で全体に連絡を届けたい場面もあるのではないかと。スマホが一般的になり60代世代でもLINEアプリは一定の利用率である。

問 LINEを活用した町内会長への連絡体制の確立を。

町長 町ではLINEを活用して公式アカウント上から各種申請や行政手続きが出来るオンライン手続きシステムの利用を考えており、そのシステム使用料については来年度予算に計上している。

このシステム利用を開始するとグループLINEと同じような使い方も可能となり町内会長との連絡にも活用出来ればと思っています。

その他にこんな質問を頂きました。

・二次医療圏について

一般質問

八郎潟町国土強靱化計画の推進について



金 一義
議員

令和6年1月1日に発生した能登半島地震で、建物が倒壊し道路が寸断し特に今回目立つのが、大規模な上水道の断水が長期化していることです。また、家屋の倒壊も人口減少と高齢化が進む過疎特有の災害という見方もあると言われていす。今から41年前の昭和58年5月26日秋田県沖を震源とする、マグニチュード7.7の大地震が発生して海岸線の地域に大きな被害を出しています。我が町もいつ来るともれない災害に備える必要があります。以下の質問をします。

問 水道施設の耐震化については、業績評価指数として上水道施設の耐震診断率を令和3年に実施済みとありますが、その結果としてはどの様に評価しているか説明下さい。

町長 上水道施設の耐震診断は平成24年度に実施しており、国土強靱化計画作成の令和3年度時点で、耐震診断は実施済みとなっております。また、耐震の診断にあたっては、宮城県沖で昭和53年に宮城県沖地震が発生しておりますけれども、その時のマグニチュード7.4、それから震度5弱から震度6強というモデルにして診断基準としております。

問 基幹管路耐震化更新率は令和3年で5.5%とあり、現在まで何%の進捗状況であって令和7年まで随時拡充とあります。その進捗はどうなっているのか。

町長 管路の耐震化更新率につきましては、令和3年度末時点での送水管と排水管を合わせた基幹路の総延長52.4kmに対し、耐震化を実施した管路は2.8kmであり、耐震化更新率は、5.5%となっております。令和5年時点では、耐震管路が4.1kmで耐震化更新率は7.8%です。管路更新事業としては、平成29年度から令和7年度までの計画で、浦大町地区水路管路は計画の前倒し等により今年度で完了になります。

八郎潟町の良さを宣傳し子育て支援を充実して移住定住促進事業の取り組み

問 町民住宅にあたっては、令和3年4月策定の町耐震改修促進2期計画に基づき、住宅所有者が実施する耐震診断及び耐震改修工事に必要な費用の一部助成し、耐震化を促すとありますが、今日までの状況は。

少子高齢化とともに、人口流出が加速する地方で今日教育の充実など子育て支援に力を入れているところが多くあります。地域を挙げて教育の充実、先進教育での取り組みで新たな住民の呼び込みで成功する自治体があります。八郎潟町も良さを周知し子育て支援を充実し移住・定住を進める事を願わずにはおられません。

町長 公立の授業料は年額11万8千円、私立は年額39万6千円です。県立高校の場合、就学支援金として市町村民所得割額が保護者合算で30万4,200円未満、目安として年収910万円未満に、全日制課程年額11万8,800円の授業料は実質無料となっております。私立高校は年収590万円未満に年額39万6千円以下の場合、実質無償となっております。

町長 我が町の災害時の場合自治体との災害時応援協定はあると思いますが、緊急課題として独自に各事業所との協定は結ばれておるか。

町長 最後の、お土産で予算案をつけられません。

一般質問

太平洋戦争の開戦にちなみ



北嶋 賢子
議員

問 50年程前、近所に古本屋があった。八郎潟町出身だと知るや戦時中、あの近くまで買い出しに行った。関東大震災や太平洋戦争を潜り抜けた店主だった。買い出しについては、母からも、タンスの底を背負って来て、大根でもカボチャでも何でも良いから分けてください、と、拜まれた。願われる方も切なかったと言う。来月4月18日は、一日市大火の記念日。焼け野原となった浦大町から見た土崎空襲の南の空は、真っ赤に染まっていたと言う。今地球上で、戦火の中を逃げまどっている人々がいます。先住していたパレスチナの人々、イスラエルとユダヤ人、カザのジェノサイド。極北の刑務所で死亡したナワリヌイ氏。80年前に日本が中国でやってきた事が、今ウクライナ

で繰り返されている。治安維持法で死亡した作家の小林多喜二等、戦争は人の心を鬼にします。人間が人間を絶対に許せない。歯がゆくて、歯がゆくて、国連はどうして平和が出来ないか、とても悲しい。

町長 世界各地で起きている争いにより否応なしに日常生活を奪われた人々がいる。北朝鮮による日本海へのミサイル等、日本を取り巻く状況も変化している。第二次世界大戦の悲惨な体験をふまえ、戦争の放棄と世界の恒久平和を願う。

母の健康の秘訣と認知症について

問 昨年12月2日に、母は100歳になりました。我家の農薬を使用しない豊富な有機野菜が、長寿の秘訣かと思えます。80歳まで五城目町の朝市で野菜売りをしていました。娘3人、孫9人、ひ孫11人。彼女には、絶対に謝らない、大本家に生まれたプライドがありました。今全国で1万8千



人の認知症不明者がいます。やがては私にも、と思うと他人事とは思えません。母も認知症が進み夕方、皆で探す等、家族が大変です。93歳で骨折し手術で車椅子。今は施設のお世話になってます。施設には、本当に心から感謝です。私も後期高齢者、認知症にならない為の教室も必要かと思うのですが。

町長 当町の平均寿命は男性81・5歳、女性87・9歳と伸びている。12月から、行方不明や徘徊等の事案発生時の対処や協力をめざす、八郎潟町地域見守り認知症SOSネットワーク事業を実施している。

高齢者への補聴器の補助について

問 2度目の質問です。平成31年時には、勇み足だったかなと思いましたが、今全国で240自治体が難聴者に独自の助成をしています。新潟県、30自治体。東京都、北海道が26自治体。次に長野県。秋田県は、三種町、横手市、仙北市、にかほ市、小坂町。金沢市でも医師会に委託をして調査をしています。補聴器をつければ生活の質はあがりますが、価格の問題が

伴います。東京都港区では、医師会や補聴器販売店と相談をして補助額を決めました。私自身は不自由は無いが、聴力検査をしようよとの頃思いますが対策はいかに。

町長 当町は、高齢難聴者への補助は実施していない。加齢による難聴は、ゆっくり進行するため、社会的孤立にならない様に住み慣れた地域で元気に暮らせる事が、健康寿命につながると思う。補助は今後検討する。



補聴器

一般質問

二元制代表制とそれぞれの政策について



加藤千代美
議員



問 首長は、議会に対し
て執行権を行使して予算
やいろいろな政策を提出
し、議会で議論を展開し
行政を進めるものだと理
解している。

その議論の過程では、
時間を設けて調査をし
り、公聴会を設けたりし
て広く町民の意見を聞い
て可決し行われて来た
と考えているが、中には情
報が十分に開示されずに
議決されたものも有る中

で、今になって問題が起
きているものもある。

又、町長は平成29年の
3月定例議会において、
私も議員も住民の代表と
して町の施策や行動、そ
して予算の適正化を違
立場から注視し、住民福
祉の向上と地域の発展の
ために間違った方向に進
まないようにすることが
重要な仕事であり、町民
のために何が良く、何が
悪いのかを重視すること
が職務だと考えておりま
す。

町民座談会については、
その年度によって参加者
が多く集まれるような内
容で開催してきましたが、
年々参加者が減少してい

るのが現状であります。
平成25年度は、未来づく
り協働プログラム八郎潟
町プロジェクトの説明、
新湖東厚生病院の説明等
を行いました。参加者
は38名でした。参加人数
が少ないことから、座談
会の中でも今後の町民座
談会のあり方についての
質問があり、今後検討す
ると答弁しております。

町民と行政が手を携え
るまちづくりには、町民
座談会は必要であり、公
式に直接町民の意見や要
望を聞く会だと考えてお
ります。と答弁致してい
るが、その後、検討され
開催されたものでしょう
か。

町長 答弁なし

(二元制代表制ではなく
二元代表制ではないでし
ようか。そこを訂正して
いただければ答弁いたし
ます。)

令和6年の農業 政策について

問 2024年の1月24
日農林水産省が通常国会
に提出する農政の基本方

針を定めた食料・農業・
農村基本法改正案の概要
が、基本理念に「食料安
全保障の確保」を掲げ、
良質な食料が合理的な価
格で安定供給される状態
と定義し、持続的な食料
供給に向け必要な費用が
考慮されなければならな
いとする考え方も盛り込
むとある。

また、2024年2月
9日農林水産省が食料・
農業・農村基本改正案と
併せて今国会に提出する
食料供給困難事態対策法
案(仮称)概要が米・小
麦・大豆などが不足する
食料危機時に政府が供給
目標を設定。

農家に増産計画の届け
出を指示できるとし、従
わない場合は20万円以下
の罰金を科すとしている。
このように次々と出て
くる農業情勢の変化に我
が町では令和6年の農業
振興をどのように推進す
るのかお伺いしたい。

産業課長 政府は農政の
基本方針を定めた「食
料・農業・農村基本法」

の改正案と「食料供給困
難事態対策法」と名付け

た新法案を2月27日に閣
議決定し、国会へ提出し
ております。

この「食料供給困難事
態対策法案」は、食料危
機につながる恐れがある
場合、首相をトップに全
閣僚が参加する対策本部
を内閣に設置し、米・小
麦・大豆などの供給目標
を決め、農家に生産拡大
を要請し、増産計画の届
出を指示できると規定さ
れ、計画を届けなければ
20万円以下の罰金を科す
とされております。

問 そんなことを聞いて
いるのではなく、20万円
の罰金について令和6年
度町ではどのような対応
を取るのか聞いているの
です。

産業課長 先程も申し上
げましたとおり、現在国
会で法案審議中であり、
法案成立後に内容を確認
し、検討したいと思いま
す。

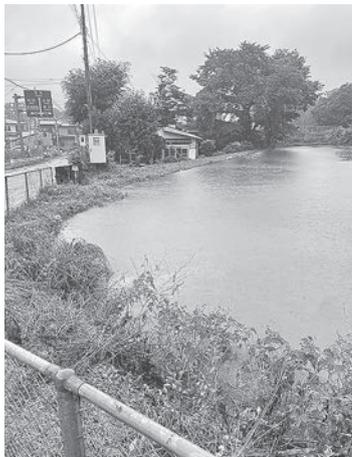
一般質問

昨年の水害を検証し、本町における今後の防災事業計画を問う



村井 剛
議員

問 昨年の7月、降り続いた雨が秋田市で299ミリと観測史上最多を記録した。秋田市や五城目町、本町を含む各地で河川の氾濫や排水不良による市街地、農地の冠水が発生した。本町では、町民一人が五城目町で犠牲となった。浸水被害では、家屋の床上8件、床下20件、水稲及び豆類で271haとなった。他に、農業施設及び堤防の洗掘等多岐となった。



ここで気がかりなのは、五城目町が激甚災害に指定され、三河川の改修に45億円を投ずるが、馬場目川の下流部、本町添いは含まれていない事である。通常、排水整備は下流部からが常識であり、本町の浸水被害は、更に増

す事となる。今後、馬場目川下流部の浚渫作業と船越の防潮水門の弾力的な運用の要請を強力に推し進めながらも、本町の防災事業計画を問う。

町長 県では、下川崎から上流の調査を行い、10年間で24・3kmの河道掘削及び築堤工事を予定している。馬場目川改修工事計画では、河口から7・2kmは改修済みとなっている。今後、県に改修の動きがあれば、擁壁工の検討を要請したい。寺沼及び4区の樋門については、噴出防止効果の高い樋門の設置を要求していく。浸水池の排水対策については、雨水排水施設や貯留施設の整備を計画している。今後とも、河道の掘削を強く要望する。

令和7年から実施される「あきたこまちR」への全面作付け切り替えの県計画に対する見解を問う

問 「こまちR」という名称を耳にしたのは、昨年9月の県知事の定例記者会見と9月県議会の報道からであった。

資料によると、県内の鉱山跡地から出ていたカドミウム対策として、放射線的一种を一度照射する手法でつくられた「コシヒカリ環一号」とあきたこまちを交配し、更に7回交配を繰り返して、カドミウムの吸収をおさえた品種との事であった。この話を聞かされた時、育種に8年を要したのに、関係機関並びに関係団体からは、何等情報の提供もなく、突然の作付完全実施の報道にビックリするのみで、消費者の反応はどうか、その事が気がかりでならなかった。

今後の輸出対策も含むとの事ですが、カドミ対策の必要面積は2割、輸

出は1%、他の品種との整合性を考えると、緊急性はあまり感じられない。県知事は「科学的に影響はないとしても、科学だけでは済まないこともある」と認識しているが、農業団体の要請での完全実施との事です。食品である事から、広報活動に一層努力し、段階的な実施が正しい方法と思うが、町長の見解を問う。

町長 「こまちR」は、品質は「こまち」と同等で、カドミウム低吸収品種として国内外の消費者に、より安全な米を提供する試みである。R6年から展示圃を活用し、周知活動を含め実施を目指していたが、一部活動家のまちがった宣伝活動の認識が広がった為の広報活動により、唐突感が広がった。「こまちR」は、安全な品種であり、生産者・消費者に誤解を招かないよう、周知に向けサポートチームが広報中である。R7年に、全面作付けとなるが、他県産種子や自家種子での作付は可能であり、生産者への情報の提供を図る。

貸衣装「葉月」への水道管の埋設を町で実施すべきと思うが？

問 「葉月」が国道沿いに店をかまえてから45年位になる。当時、付近には「八郎潟レストハウス」のみで、水道管の布設は自己施工であった。位置は「ハス園」の排水路、長さは百m程。これまで、周辺耕作者・ハス園関係者により、水道管の破断事故が何回となく発生し、排水路に横たわっている。この現状放置は、更なる破断事故を誘発するものであり、これまでの経過からして、ハス園の排水対策も含め、町による善処が望まれる。町長の見解を問う。

町長 個人の財産を町で対応するのはできない。土地の取得も個人であり、現時点での町の対応はできない。御理解願う。

要望 隣に建物が建つ時、呼びかけ等の配慮で、安価に接続できた。仲介の労をとるのも、行政の大きな役割と思います。

令和6年 八郎潟町議会3月定例会 提出議案結果報告

議案番号	審議案件	結果
	各委員長報告（総務産業・教育民生・予算特別）	
承認第1号	令和5年度八郎潟町一般会計補正予算（第9号）の専決処分の承認を求めることについて	全員賛成可決
承認第2号	八郎潟町手数料条例の一部を改正する条例の専決処分の承認を求めることについて	全員賛成可決
議案第3号	令和5年度八郎潟町一般会計補正予算（第10号）について	全員賛成可決
議案第4号	令和5年度八郎潟町国民健康保険特別会計補正予算（第3号）について	全員賛成可決
議案第5号	令和5年度八郎潟町後期高齢者医療特別会計補正予算（第3号）について	全員賛成可決
議案第6号	令和5年度八郎潟町公共下水道事業特別会計補正予算（第4号）について	全員賛成可決
議案第7号	令和5年度八郎潟町介護保険特別会計補正予算（第3号）について	全員賛成可決
議案第8号	令和5年度八郎潟町上水道特別会計補正予算（第4号）について	全員賛成可決
議案第9号	行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例について	全員賛成可決
議案第10号	八郎潟町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について	全員賛成可決
議案第11号	八郎潟町単純な労務に雇用される職員の給与の種類及び基準を定める条例の一部を改正する条例について	全員賛成可決
議案第12号	八郎潟町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	全員賛成可決
議案第13号	八郎潟町介護保険条例の一部を改正する条例について	全員賛成可決
議案第14号	八郎潟町水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例について	全員賛成可決
議案第15号	八郎潟町上水道事業給水条例の一部を改正する条例について	全員賛成可決
議案第16号	八郎潟町の公の施設に係る指定管理者の指定について	賛成多数可決 (反対：加藤千代美、小柳聡、京極幸村、金一義)
議案第17号	令和6年度八郎潟町一般会計予算について	賛成多数可決 (反対：加藤千代美、京極幸村)
議案第18号	令和6年度八郎潟町国民健康保険特別会計予算について	全員賛成可決
議案第19号	令和6年度八郎潟町後期高齢者医療特別会計予算について	全員賛成可決
議案第20号	令和6年度八郎潟町介護保険特別会計予算について	全員賛成可決
議案第21号	令和6年度八郎潟町水道事業会計予算について	全員賛成可決
議案第22号	令和6年度八郎潟町公共下水道事業会計予算について	全員賛成可決
	陳情について	
議案第23号	八郎潟町教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて	全員賛成同意
諮問第1号	八郎潟町人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	全員賛成可決
議案第24号	八郎潟町教育委員会教育長の任命につき同意を求めることについて	全員賛成同意
	議員派遣について	全員賛成同意

各常任委員会への審議

総務産業 常任委員会

- 補正予算議案 3件
- 条例の一部改正議案 5件
- 指定管理者の指定議案 1件
- 陳情 4件

◆ 一般会計補正予算

問 南秋公共交通活性化協議会負担金について、運送収入の減少額に対して負担額が大きいのではないかと。

答 負担金は4半期ごとに支払いしており最終となる4期分で清算される。燃料費の高騰による運航経費の増や利用者減による運送収入の減少、また令和5年度から負担割合が改められ、本町の負担割合が3%程の増となったことも要因である。

問 除雪車の売却はかなり高額に見受けられるが、耐用年数が過ぎたものか。

答 今回売却したものは平成2年製であり、耐用年数は経過している。見込みでは50万円程度と考えていたが入札により、1,870千円で売却したものである。

問 商店後継・起業支援交付金の4件の内訳は。

答 後継者が1名、起業者が3名である。

◆ 上水道特別会計 補正予算審議

問 農地集積加速化基盤整備事業に伴う水道管施設工事については、どのような作業内容か。

答 平成29年度から送

水管布設替え・耐震化工事を行っているが、基盤整備事業が始まる前に、県と協議し送水管の布設替えを行っている。その後の基盤整備の水路工事において、既設送水管が3カ所で水路と交差し支障となつた。5年度はそのうちの1カ所を移設する工事を行っている。

◆ 公の施設に係る指定 管理者の指定審議

問 町づくり活動センターについて3年間の指定だが、単年度での指定管理とすることは可能か。

答 20の公の施設の指定管理期間については、3年周期で指定し、担当課で管理委託契約は単年度ごとに締結している。

教育民生 常任委員会

- 専決処分承認議案 2件
- 補正予算議案 4件
- 条例一部改正議案 2件

◆ 一般会計補正予算

問 新型コロナウイルスワクチン接種の全額公費負担が終了ということで減額されているが、3月31日をもって終わるといふことか。

答 4月からワクチン接種費を町で助成するため、その分を当初予算に計上しております。来年度当初予算で計上している助成額は、高齢者には3,000円、高齢者の非課税者には7,000円の助成を予定しております。

問 災害救助費の修繕料を1,372千円減額しているが、7件予算計上されているうち、4件は届け出がなかったというところか。

答 対象となるのは、日常生活に必要な最小限度の部分の修繕で、限度額も決まっております。中規模半壊で706千円以内、本町では対象が1件でした。準半壊で343千円以内、本町では対象が6件でした。このうち制度を利用したのが中規模半壊の1件と、準半壊の2件でした。修繕をしなかった4件の対象者とも確認をしましたが、申請には至っておりません。

◆ 条例関係議案

問 父が亡くなった際に各地をたどり戸籍謄本を取った。電子証明書を使えばこのようなことをしなくてもよいということか。

答 戸籍謄本については、以前までは本籍地にて発行してありましたが、今後は、各市町村の役場で申請できるようにいたします。

問 対象となるのは、日常生活に必要な最小限度の部分の修繕で、限度額も決まっております。中規模半壊で706千円以内、本町では対象が1件でした。準半壊で343千円以内、本町では対象が6件でした。このうち制度を利用したのが中規模半壊の1件と、準半壊の2件でした。修繕をしなかった4件の対象者とも確認をしましたが、申請には至っておりません。

問 (アメリカ大リーグの) 大谷翔平選手の野球グローブは届いているか。

答 1月上旬に、役場教育課へ3つのグローブ(右利き用2つ、左利き用1つ)が届きました。学校に渡ししております。学校で展示されております。(※児童生徒はだれでも見て触れるようになっている。)

予算特別委員会審議

◇一般会計当初予算 1件

住民生活課関係

問 防災士育成事業研修について、対象となるのは、役場職員や消防士ですか。

答 役場職員、消防士でなくても町民も希望すれば受講することが出来ます。令和5年度から県が始めた事業で、令和5年度は、馬場目川沿いの26区と34区町内会長から受講してもらい、防災士の資格を取得しております。令和6年度からは、興味のある町民もいると思いますので、広報等で周知していきたいと思っております。

問 防災センター消耗品備蓄用品について、昨年の7月の大雨で毛布を使ったから購入するようですが、毛布の使用は1回限りですか。

答 毛布はリパックする方法もありましたが、毛布が古いため購入することにしました。

問 災害用エリアメール

について、今まで各社ごとからだったようですが、今後は町と各社ごとに来るようになるのか。それとも町からのみ来るようになるのか。

答 災害用エリアメールについて、今までは携帯キャリア4社ごとに担当が文字入力しております。そのため1社目と4社目でタイムラグがありました。今回これを導入することにより4社一斉に送信されます。

問 地球温暖化対策実行計画は、どのような目標を定めているのですか。

答 温室効果ガスの削減目標を定めた計画となっております。町では国の目標に準じて、2030年度まで2013年度比で46%の削減することを目標としております。

健康福祉課関係

問 今年の予算を見て驚いており、頑張ったと思います。胃内視鏡検診について、60人分の予算が計上されていますが、無料で実施すること

0円としていますが、国からの情報がまだ無いため、近隣市町村と情報を共有しながら調整したいと考えています。

問 6年度の出生数は、予算上16名を見込んでいるということですか。

答 出生数については、今年度の母子手帳の発行数が14件ですが、既に出産した方の分も含まれるため、来年度の予想として16件を見込んでいます。

問 ボランティアの数がだんだん減ってきていますが、町としてはボランティアの育成について検討していますか。

社会福祉協議会の事業の中で、ボランティア活動事業補助金があり、ボランティア育成に関する事業ですので、これが担っていると思います。

問 通園バスについて、バスの運営をこども園へ任せたらどうかと言う(質問が以前)ありましたが、その後話し合い等はありませんか。

答 こども園との契約は、令和6年度が5年契約の最終年になるため、来年度、1年をかけて協議する予定です。また、通園バス本体も老朽化が激し



たいようこども園通園バス (現地視察)

く、子供の人数も減ってくるため、それについても協議する予定です。

問 特別職報酬審議会について、開催予定時期はいつか。また、報酬審議会の答申をどの程度当局が尊重するのか確認したい。

答 時期につきましては、これまで1月以降に開催されていると思います。(答申の扱いについては)今後検討いたします。

問 志田千陽選手の前オリピック出場について、激励会や壮行会を実施する場合、今後、総務課で予算化するのか。

答 志田千陽選手の後援会もありますので、事業の主権をどうするかなど、さまざまな点について協議する必要があります。町で事業実施をする場合は、必要に応じて、補正予算等により対応します。

建設水道課関係

問 岡本下台の用地測量業務についてですが、まず本町で一番(道路が)不便なのが岡本下台だと感じています。この町道の拡幅工事というのは町内会からの要望なのか。

答 町内会からの要望です。通学路としても利用



まちづくり活動センター（現地視察）

されており、危険だとい
うことで事業化に至って
おります。

問 31区 の行き止まり道
路について、千種珠算学
校脇に繋げるよう何年も
前から要望していたが未
だに実施されていない。
この要望について検討事
項になっているのか。
答 31区 の袋小路につい
てですが、検討はしてお
りません。但し、交渉過程
において地権者との協議
がまとまらないというこ
とで一旦休止した形とな
っております。

問 志田千陽選手のオリ
ンピック出場が決まれば
応援看板を作成すること

になるが、一日市大通り
にも横断幕を掲げて欲し
いと思う。そうすること
で、八郎潟町を通過する
車両にもPRすることが
できる。

答 応援看板については、
後援会からの要望を受け
て予算計上をしました。
設置場所は役場庁舎前の
緑地を考慮しております。
足場を除いて、縦1・3
m、横7・2mの横型看
板1枚を設置予定です。

問（中学校の）部活動
地域移行検討委員会の委
員構成は、どのようにな
っているのか。

答 スポーツ推進員長、
スポーツ協会長、各種部
活・同好会のコーチ、そ

れに関係するスポーツ協
会の単位協会長、学校関
係者、学校運営協議会委
員、町の28名です。

問（江戸時代後期に秋
田藩の武士であった）
真坂の水谷さんの先祖が
（北海道警備のため）増
毛に行き、「増毛日記」
を残している。これはは
ちばる図書館に収蔵され
ているが、こういった町
の先祖の方を紹介する講
座を、図書館の事業とし
て行えないかという提案
をする。

答 分かりました。

産業課関係

問 鳥獣保護対策予算が
ありますが、鳥獣被害防
止対策協議会の設立関係
の予算は入っていますか。

答 関係予算としては、
協議会の印鑑購入を消耗
品費に盛り込んでおりま
す。協議会を設立します
と、罫の購入や活動費等
の（国の）補助を受ける
事が出来ます。令和7年
度の補助金を貰うために
は、令和6年7月位を目
途に設立いたします。

特別会計等当初予算

5件

問 介護保険特別会計で
介護保険料について、現

在6,700円から6,9
00円へなるということ
ですが、増額したことの
経緯を教えてください。

答 介護保険料を算定す
るうえで、向こう3年間
の給付額の数字を入力し
予想します。当初基準額
が7,000円を超え
額になりましたが、今年
度の予算で800万円ほ
ど基金に繰り入れること
ができましたので、基金
の14,000千円を繰
り入れると、6,900
円になりました。

問 水道事業会計で八郎
潟町の水道料金が高いと
いうのがずっと言われて
きている。これをどう解
決するかというと、なか
なか難しいが、広域水道
にすれば安くなる可能性
もある。

答 県の水道ビジョンで
はやりとりしております
が、現状広域について結
論づけたものは無いので
明確にシミュレーショ
ンをする事は考えてお
りません。

現地視察

- たいようこども園通園バス
- 防災備蓄倉庫(旧小学校)
- オリンピック記念会館
- まちづくり活動センター

加藤議員のこれまでの発言について

加藤議員のこれまでの一般質問等における発言に
ついて内容は通告書と異なることを質問するなどの
行為を繰り返し、何度か口頭注意をしてきましたが
改善が見られません。このことについて、本
会議で町長より発言がありましたので左記に掲載い
たします。

八郎潟町議会議長 伊藤秋雄

八郎潟町長 畠山菊夫

発言の機会をいただき、ありがとうございます。

今議会一般質問において、加藤議員が「NPO法
人「はちらぼ」について、情報が十分に開示されず
に議決され、今になって問題が起きた事をどう思っ
ているのか」との質問があり、私は「平成29年2
月の設立以来、NPO法人「はちらぼ」に対する予
算及び決算については本会議や委員会審議の中で説
明をし、質疑応答を経ながら議決を得て進めており、
何を根拠にそのように言っているのか全く理解出来
ません」という答えをしております。その後、私が

『反問権』を行使し、「そう思うんですしたら何故当
初予算に反対されなかったのか」とお聞きしました。
答えは「反対してまずよ」でした。「いつですか」
とお聞きしたら、「29年度の時、反対してまずよ」
と。「翌年の決算は、どうされましたか」と聞いた
ところ、「反対してまずよ。でも、多数決の原理で
すから負けてまずよ」と答弁されたことは、先日の
ことでしたので議員の皆様もご承知のことと思いま
す。しかし、確認してみたら、平成29年度から令和
4年度までの当初予算については、加藤議員が言わ
れた反対ではなく、ご自身も賛成されました。決
算においても同様でした。これまで虚偽の質問をさ
れたことは多々ありますが、『反問権』に対しても
事実とは異なる発言は私としては耐え難いものがあ
り、職員への対応も大変でございます。今後このよう
な事の無いよう願うものでございます。

陳情

受理番号	受理年月日	件名	住所	氏名	件名	本会議結果	付託委員会
1	令和6年1月19日	陳情	秋田県秋田市	秋田県労働組合総連合 議長 越後屋健一 秋田県春闘共闘懇談会 代表委員 奥井 明子	「最低賃金法の改正と中小企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める陳情書	採 択	総務産業
2	令和6年1月19日	陳情	秋田県秋田市	秋田県労働組合総連合 議長 越後屋健一 秋田県春闘共闘懇談会 代表委員 奥井 明子	公契約条例の制定による適正賃金・労働条件の確保と地域経済の振興を求める陳情	採 択	総務産業
3	令和6年1月26日	陳情	秋田県秋田市	「あきたこまちR」をみんなで考える会 代表 田口 則芳	「あきたこまち」の「あきたこまちR」への全面切り替え計画に関する陳情書	採 択 反対： 小柳 聡 北嶋賢子 京極幸村	総務産業
4	令和6年2月22日	陳情	山形県鶴岡市	沖縄に応募する会 代表 漆山ひとみ	地方自治と沖縄の自己決定権を尊重し沖縄県との十分な対話で基地問題の解決に臨むことを国に求める意見書に関する陳情	採 択	総務産業



議会のうごき

1月

- 4日 消防出初式 (副議長)
- 12日 臨時会
- 18日 例月出納検査 (監査委員)
- 31日 南秋議会議長研修会

2月

- 3日 合同厄祓い・還暦祝 (議長)
- 10日 スポーツ賞授与式・スポーツ講演会
- 13日 秋田県町村電算システム共同事業組合議会定例会 (議長)
秋田県町村議会議長会理事会 (議長)
- 19日 例月出納検査 (監査委員)

- 27日 議会運営委員会、議会広報編集委員会
- 28日 議会全員協議会

3月

- 1日 議会全員協議会
- 3日 八郎潟町婦人会総会 (議長)
- 5日 議会定例会 (15日まで)
- 21日 湖東地区行政一部事務組合議会
- 21日 八郎湖周辺清掃事務組合議会
- 21日 議会広報編集委員会
- 22日 例月出納検査 (監査委員)
- 22日 八郎潟町・井川町衛生処理施設組合議会

編集後記

昨年は、自然の驚異を感じた1年であった。7月の記録的な大雨が襲い、秋田市・五城目町を中心に7千棟超で復興は道半ばである。8月は猛暑が続き、農作物に多大な被害をもたらした。秋は各地でクマの出没が増え、人身被害も相次ぎ様々な出来事が起きた年であった。

今年は、辰年。辰年は陽の気が動く、活力旺盛、形が整う成就するなどが期待される年だと由来がある。しかし、元旦に石川県で最大震度7を観測し能登半島地震が発生した。この先、何が起こるか不安、常に備えが大事である。

ことしは、政府が「地方創生」の政策として始めて10年となる。人口減少が全国で最も早いペースで進む本県、本町も含め施策の検証は必須である。

小生は、初心を忘れず「住みよい町づくり」のため町へ提案してまいります。

まずは、ウクライナやパレスチナなどの紛争収束と和平の早期成就を願いたい。
(畠山一充)

◆議会広報編集委員会

- 委員長 村井 剛
- 副委員長 金 一義
- 委員 北嶋 賢子
- 石井 清人
- 畠山 一充
- 柳田 裕平